

新山協ニュース

新潟県山岳協会ホームページ <http://www.echigo.ne.jp/~nma/>

会長 遠藤家之進正和
新潟県山岳協会
新潟市南区鷺ノ木新田1049
TEL 025-362-5004

事務局 諏訪恵一
長岡市高畑町610-10
TEL 0258-35-4373

編集 新山協ニュース編集
委員会代表 浅野亘寛
TEL 0258-52-3998

会長に就任して

新潟県山岳協会会長

遠藤 家之進正和



この度の役員改選により、会長という役職をお引き受けすることになりました。重責の大役に身の引き締まるおもと、新潟県山岳協会という、

となりクライミングを主体とした競技になります。ここ数年、口を開けば二巡目国体という状況下にありました。これまで新潟県、県体育協会、

責任団体の責務を全うできるか否か、不安で一杯なのが本音でございます。幸い副会長を始め、各種委員会委員長の皆さんのご協力をいただき、協会運営に当たりたいと考えております。ご承知のとおり、2年後の平成21年度には二巡目国体が目前に迫ってきました。従来の山岳競技から様変わりし、来年度の大部分国体からは、リード競技とボルダリング競技の2種目を主体として

開催地であります上越市との関係機関と施設整備をはじめ、運営関係等の打ち合わせを行ってきており、開催直前まで準備を進めていくこととなります。昨年年度までは、選手を育成することを主体として「国体準備室」を立ち上げ、対応してきましたが、新年度を迎え、新たな役員体制となりましたので、近々協会内に総合的に対応する「準備委員会」体制を整え、協会加盟団体からの協力の受け皿を整備した上で、あらためて協力要請を行いますので、その節は、格段のご配慮と協力をお願い致します。協会は、総務委員会をはじめとする8委員会が加盟団体相互の親睦、技術の向上を目的に運営してきました。この度、協会が所属する日山協においても、国体関係の変革に伴い、運営体制の見直しを図りました。当協会においても、中央の体制に準じて、機動的に対応できるように委員会の統合等を検討し、新しい体制で始動を始めました。少々とまどいから、周知に於いてご迷惑をおかけするかも知れませんがご容赦をお願いします。団

海外・国内旅行、主催・手配

JUMPING TOUR

ユニオン航空サービス
国土交通大臣登録旅行業第553号・JATA代理店 (社) 日本旅行業協会員
本社：新潟県長岡市幸町1丁目3番5号

<http://www.uks.co.jp>

☐長岡営業所 〒940-0094 長岡市幸町1丁目3番5号 ☎ (0258)33-7123
☎ (0258)33-7124

☐新潟営業所 〒950-0918 新潟市水山3丁目2番11号 ☎ (025)246-2266
☎ (025)246-2267

塊世代」の退職が始まり、自分見つけの活動に自然との触れ合い、仲間見つけに登山を楽しむ第二のアウトドアブームが再燃の兆しも予測されています。これらのアウトドア指向者の受け入れから、適正な指導も協会加盟団体の役割と考えています。各加盟団体におありましては、対応方よろしくお願ひします。役員一同加盟団体の発展を祈念し業務に当たる所存でございますので、よろしくご協力をお願い申し上げます。会長就任のご挨拶とさせていただきます。

望月 力氏逝く

三月二十九日 新潟県山岳協会顧問でもあり、日本山岳会越後支部名誉会員でもあった、望月力氏が急逝された。腰椎や多臓器不全で通院されていたとはいえ、晩餐会などでお元気に乾杯の音頭をとられていたお姿が目にかぶ。ご熱心なご指導や、登山装備の開発など岳人に与えた影響は大きい。ご逝去の直接の原因は心筋梗塞とか。三月三十一日(土) 通夜、葬儀は四月一日(日)に三条市のビップシティホール県央で多くの人達に見守られてとり行われた。心よりご冥福をお祈りいたします。行年86歳。喪主は望月 岳志氏



弔辞

つつしんで日本山岳会越後支部名誉会員・会員番号2403号、登山家の故 望月力さんのご霊前に哀悼のこぼしを申しあげます。

突然の訃報におどろいておられます。ついこの間までお元気な様子でしたので、信じられませんでした。お会いしたのは昨年の12月9日でした。日本山岳会越後支部の創立60周年記念祝賀会に於いて、お願いして乾杯の音頭をとって戴いたのです。この頃はいつも『乾杯要員』になってしまっただ。とおっしゃられて、80人を超える支部会員の出席者の前でお元気な様子で挨拶されました。

登山の大先輩である望月力さん。あなたは1922年にお生まれになられ、秀峰山岳会の創立にたずさわられたのは、二十歳の頃とうけ賜わっておりました。そして1946年、日本山岳会越後支部の創立と同時に、支部の会員になりました。その後1964年新潟県の岳人が総力をあげて結

集し成功させた、残雪期飯豊連峰での国体山岳競技では、あなたはその中枢的な役割をはたされました。やがて1990年に、日本山岳会越後支部の名誉会員に推されたのは、あなたの山への深い情熱・すぐれた技術と統率力・そしてお人柄によるものであります。

あなたを私達はいつも尊敬し信頼していたのであります。あなたは、立派な指導者でありました。いつも技術講習会では、雪上でのピッケルや、ザイルワーク・ピヴァーク技術など、ご自分の経験をもとに、ていねいに教えてくださいました。

あなたはすぐれた発明家でもありました。独創的なアイデアを生かした数々の「モチズキ製」の登山用具を世に出されました。また、望月力さん。あなたは、登山という範疇を超えた人生の深い経験者として私達を指導してくださいました。私事になりますが、1979年 藤島玄大長老を団長として、中国に渡ったことがありました。その時に、中国語を話せるのは、望月力さん、あ

なただけだったのです。その国の風習についてもご指導くださいました。

そして、いつも大きな夢をもっておられました。それは、少年のような新鮮さで、後輩の私達をご指導くださったのであります。

望月力さん。いま私達とは幽明界を異にしてしまいました。これからその世界で、かつての岳人の先輩と語り合う日々を迎えられることと思われま。残された日本山岳会越後支部は、会員融和とあなたが残された夢の追求にむけて努力を重ねてまいりますので、見守って下さい。長い間、ご尽力くださいまして有難うございました。ご遺族様にお悔やみ申しあげますとともに、望月力さんの霊の安らかならんことをお祈り申しあげ弔辞といたします。

2007年4月1日

新潟県山岳協会 参与・日本山岳会越後支部 支部長

平田 大六

日本山岳会越後支部 副支部長
山崎 幸和 代読

平成18年度第3回理事会概要

平成19年3月17日(土) 13:36~16:20
長岡市中央公民館 0258-3210437
長岡市柳原町2-1

◆出席者 藤井・橋本・山田(智子)・森・遠藤・阿部・諏訪・七沢・本間・楡井・桜井・渡邊・水落・浅野・小林(重)・今井・稲田・新保・高橋(正英)・小林(重弘)・嶋原・外山・横山・後藤(正弘)・北村・井・片桐(以上 27名)

◆会長挨拶(橋本正巳)

議題1 平成18年度専門委員

会事業報告・決算報告

◆総務委員会(七沢委員長)

配布した資料参照のこと。今年度賛助会員34名、全日本大会申し込みなし。親陸登山下田地区白根山で実施し。新年会は新潟第一ホテルにて開催。詳細は別紙①、②を参照。決算報告は配布資料をご覧ください。協会旗(小)は9枚残っている。

◆指導技術委員会(阿部委員長)

6月に岩登り講習会を新発田市杉滝岩で32名の参加を得て実施、2月には冬山技術講習会を新発田市組倉山で同じく32名の参加で実施した。決算報告は配布資料を参照してください。

◆遭難対策委員会(井副委員長)

6月・7月には日山協遭難対策委員会兼研修会、全国遭難対策協議会にそれぞれ出席した。7月23日に18年度安全登山講習会を中高年登山委員会と共催で角田山を会場に実行し79名の参加を得た。11月に救急法講習会を燕市吉田消防署の協力を得て実施、今年2月には新潟県山岳遭難防止対策協議会に橋本会長・楡井委員長が出席した。決算報告は配布資料を参照。

◆自然保護委員会(本間委員長)

配布資料のごとく、今年度は9回の事業を実施あるいは参加した。春の研修会は5月に五頭山麓の山友荘で実施し、翌日は宝珠山登山をした。参加38名。秋の研修会は10月

21日~22日に土樽の高波ヒュッテで実施し、初日に日本自然保護協会常任理事の横山隆一氏をお招きし、講演をしていただいた。翌日は大源太山登山で31名の参加。ふるさとの自然再生協働事業にも取り組んでいる。決算報告は配布資料を参照してください。

◆中高年登山委員会(桜井委員長)

7月に遭難対策委員会と共催で安全登山講習会を角田山で開催した。9月8日~10日に富山県立山で開催された文部科学省主催の中部地区中高年安全登山指導者講習会に桜井が出席してきた。受講者は29名、役員・講師は23名だった。決算報告は報告書参照。

◆国体委員会(水落委員長)

配布した事業報告書のごとく、国体県予選会、北信越国体、本国体(兵庫県神戸市)と進み、好成績を上げることが出来た。5月には北信越5県代表者会議に、11月に北信越5県連絡会議と出席し、2月24日~25日には競技部プロジェクト研修会参加のため、18名が福井市まで出向いてきた。決算報告は配布資料を参照してください。

◆クライミング委員会(稲田委員長)

配布資料のとおり、10月23日に第9回新潟カップ

を実施して49名の参加を得た。決算報告は報告書を参照してください。

◆海外登山委員会(小林委員長)

配布資料なし、2月17日~18日に日山協主催の海外登山研究会に小林が出席した。

◆婦人委員会(山田委員長)

配布資料なし、11月11日~13日に韓国・昌元山岳会との姉妹山岳会締結25周年を記念して訪韓してきた。参加15名。

◆ジュニア委員会(今井委員長)

4月23日に国体県予選会と同時に県ジュニアクライミング大会を同会場(妙高国際アウトドア専門学校)で実施した。参加選手は28名を数え、盛会裏に終了した。決算報告は配布資料参照。

◆会報編集委員会(浅野委員長)

配布資料のごとく、会員各位からのご協力で221号から232号までの発行が完了し、3月10日には、新潟県体育協会の80周年記念誌号を発行できた。決算報も配布資料ご参照いただき、今後とも発行にご協力願いたい。

◆事務局(諏訪事務局長)

配布した決算資料を参照してください。現在6団体が負担金未納。

◆質疑応答

協会の小さな旗が何枚残っているか? 今

後の事業で必要になる場合があるのでは、残り少ないならば、配布終了としておくべきと思う。(藤井)

事務局で10枚を保有。総務委員会でも9枚保有しているのだから今後に対応したい。新年度に賛助会員の方々には、別なものを考慮している。(理事長)

本日、決算報告が終わったから理事会終了後に委員会の会計監査を横山・外山のお二人の監事より会計監査をしてもらうので、各委員長は必要書類を持参して会計監査を受けていただきたい。(事務局長)

今年度、県体協より委託金を388.4万円受けていたが3月4日締め切りですべて消化したことを報告する。現在、渡邊先生より監査を受けている。(遠藤副会長)

議題2 平成19年度専門委員

会事業計画・予算案

◆総務委員会(七沢委員長)

配布した資料参照のこと。

10月19日~21日に第46回全日本登山体育大会が山口県秋吉台で予定、協会親睦登山は10月27日~28日に下越地区で予定。賛助会員は30名以上を目標としたい。新年会は1月26日に計画。予算案は計画書を参照。

◇指導技術委員会(阿部委員長) 6月16日、17日に岩登り講習会、2月16日、17日に冬山講習会を上越地区で実施したい。事業予算は計画書のとおり。

◇遭難対策委員会(楡井委員長) 配布した19年度計画書のとおり。新年度に入り、加盟団体の新しい連絡先が発表されたら安全登山啓蒙チラシを作成配布したい。安全登山講習会と救急法講習会は例年どおり実施したい。

◇自然保護委員会(本間委員長) 配布資料のごとく活動を実施する。5月19日、20日に春の研修会を上越地区で、10月20日、21日に秋の研修会を下越で計画する見込み。自然保護活動に取り組み、日山協自然保護指導員更新にご協力願いたい。

◇国体委員会(水落委員長代理) 配布した計画書のごとく、例年並の行事を計画している。4月1日の国体委員会総会から始まり、2月中旬の審判員研修会(新潟県担当)にわたる。9月29日から始まる秋田国体では、縦走競技が最後となる。事業予算案は配布資料のとおり。

◇クライミング委員会(稲田委員長) 計画書のとおり、10

月20日、21日に第10回新潟カップを国際アウトドア専門学校で計画している。事業予算は計画書参照。

◇海外登山委員会(小林委員長) 中国・青海省登山協会との兄弟友好協会締結15周年記念事業で、登山隊にはこれまで応募なしで実施困難。トレッキング隊にはいくつかの申し込みがあるので早急にまどめて行きたい。2月の海登研には参加したい。

◇ジュニア委員会(今井委員長) 4月22日にジュニアクラ イミング大会を国体予選会と同時に開催したい。事業予算は計画書のとおり。

◇会報編集委員会(浅野委員長) 新年度もコンスタントにニュース発行を実施していきたい。今後とも原稿執筆にご協力願う。

◇事務局(諏訪事務局長) 分担金の納入を遅滞なく願いたい。配布した予算資料のごとく、執行していきたい。

◇質疑応答 新年度の賛助会員については、県山協ニュースで名簿を発表し、振込用紙を郵送する方法をとったかどうか。(藤井)

そのようにしたい。(理事長) 自然保護指導員であっても自然保護研修会に顔を出さない

人も更新か?(高橋)

加盟団体の長に連絡して推薦していたら、その後には協会の推薦方式なので、これを踏襲していきたい。(本間)

各委員会により提出された平成19年度計画案、予算案を承認する。▲理事承認▲議題3 新年度役員改選および専門委員会編成替えについて

配布された平成19年度・新潟県山岳協会役員案▲資料を参照ください。次のように変更された部分を説明いたします。

橋本会長↓顧問 山田副会長↓参与 遠藤副会長↓会長

森副会長↓理事長 渡邊常務理事↓副会長(64国体強化総括責任者) 稲田常務理事↓副会長(64国体施設担当) 真島理事↓常務理事(高体連)

桜井常務理事↓理事 新保常務理事↓理事 片桐理事長↓副会長(総務)

▲新任の部 中村光信理事 市村英明理事 南雲晴樹理事 水落竜馬理事

▲兼任の部 常務理事(競技委員長) 稲田春男 常務理事(指導技術委員長) 阿部信一 備考・中・高年委員会↓遭難対策委員会と統合 婦人委員会↓総務委員会に

統合 国体委員会とクライミング委員会↓統合して競技委員会以上

議題4 その他 中国・青海省登山協会との兄弟友好協定15周年行事について

先ほど説明したごとく、海外登山委員長が早急にモデルプランを作り、4月7日の評議員会までに公表したい。(小林委員長)

15周年行事については、心して計画的に取り組んでもらいたい。(藤井顧問)

64国体実行委員会の立ち上げについて

リハール大会を含めて2年後に実施が迫っている

ので、実務的な考え方で新体制が始まると同時に実行委員会を立ち上げていきたい。(遠藤副会長)

◆終了挨拶(遠藤副会長) 文責:片桐

登山・アウトドアの専門店



新潟市東大通2丁目5番1号 ☎(025) 243-6330(代)

登山・ハイキング・クライミング
テレマーク&山スキー



パーマーク
長岡市西宮内2-97(長岡市役所裏通り)
TEL0258(37)1200・FAX0258(33)1164
●営業時間/AM10:30~PM8:00水曜定休

http://www.parrmark.co.jp

隊員募集

かねてより計画されていた可西里奥地に点在する、湖北氷峰・五雪山・大雪峰は7月～8月期は永久凍土地帯のため移動の困難さと準備不足の事もあり、今回は中止となる。新たに4月7日の評議員会において『新潟県山岳協会・青海省登山協会兄弟協定締結15周年の旅』と銘打って6月に実行することになった。中高年有志による青海省調査隊の足跡を土台として別表の計画となった。格爾木からラサへ、並行して延びる青蔵公路と天空を征く青蔵鉄道の旅。格爾木から青蔵公路を行くこと3～4時間ほどで崑崙崙以北の盟主、玉珠峰(6,200m)がある。その北方に連なる無名の未踏峰(5,500m位)達の眺めも圧巻だ。基地としては招待所もある西大灘(4,150m)が最適で、登山としてのベースキャンプは10km～20kmジープで入ることになる。野生動物との出会い、花々を愛でながらのベースキャンプ探すと、次回につきながら未踏峰への試登も興味

新潟県山岳協会・青海省登山協会兄弟協定締結15周年の旅

《中国・青海省西寧～チベットラサへ天空の列車旅/崑崙山脈未踏峰調査トレッキング》

期日：平成19年6月23日(土)～6月30日(土)【7泊8日】列車旅(10名)
 平成19年6月16日(土)～6月30日(土)【14泊15日】トレッキング(7～8名)
 費用：2コースとも青海省登山協会で調整中(どちらのコースとも30万円前後)
 申し込み締め切り：早急に！(列車旅は先着10名)



玉珠峰(6,200m)北の無名の未踏峰(5,500～6,000m)

トレッキング(15日間の日程)

16日(土) 新潟空港発14:00(MU296)16:05上海(浦東)
 18:15(MU2160)22:45西寧着(泊)
 17日(日) 西寧滞在・夜ジープでゴルムドへ(車中泊)
 18日(月) ゴルムド滞在(高所順応のため) 金地賓館(泊)
 19日(火) ゴルムド(ジープ移動)西大灘(高所順応)
 西大灘招待所(泊)
 20日(水) 西大灘(ジープ移動)BC(BC設営・周辺調査) BC(泊)
 21日(木) 崑崙山脈・未踏峰の試登、BC(泊)
 22日(金) 予備日 BC(泊)
 23日(土) BC～西大灘～ゴルムド 金地賓館(泊)
 24日(日) ゴルムド(ジープ移動)大紫旦へ(魔鬼城へ) 大紫旦(泊)
 25日(月) ジープで魔鬼城探索 大紫旦(泊)
 26日(火) 大紫旦～(ジープ移動)～青海湖(信越山荘) 信越山荘(泊)
 27日(水) 信越山荘～ジープ移動～西寧へ 西寧賓館(泊)
 28日(木) 午前、タール寺見学 午後フリータイム
 夜、15周年記念パーティ(泊)
 29日(金) 西寧～(空路上海へ)上海フリータイム 上海(泊)
 30日(土) 上海発09:35(MU295)13:00新潟着(解散)

列車旅(8日間の日程)

23日(土) 新潟空港発14:00(MU296)16:05上海(浦東)
 18:15(MU2160)22:45西寧着(泊)
 24日(日) 午前、西寧～(マイクロバスにて青海湖へ)
 信越山荘(泊)
 25日(月) 朝・信越山荘発(マイクロバスにて)
 死の砂漠・ツアイダム盆地經由ゴルムドへ
 (途中、塩湖見学) 金地賓館(泊)
 26日(火) ゴルムド7:30発「天空の列車」～可西里高原を走る～
 (最高高度5,072m)タングラ峠～アムド～ナチュ～
 ナムツオ湖～22:30ラサ着 ヒマラヤ酒店(泊)
 27日(水) ラサ市内見学～ポタラ宮殿～チョカン寺～八角街～ラサ
 同上(泊)
 28日(木) 11:00ラサ発(空路西寧へ)13:05西寧着時刻まで自由行動
 夜、兄弟協定締結15周年記念パーティ 西寧賓館(泊)
 29日(金) 西寧～(空路上海へ)上海フリータイム 上海(泊)
 30日(土) 上海発09:35(MU295)13:00新潟着(解散)



西大灘付近に群れる鹿たち

備考：『天空の列車旅』をメインに、未踏峰調査トレッキングは次年度計画のための調査行動です。
 (連絡先)片桐一夫 940-2033 長岡市上除町甲1762-1 電話・ファクス 0258-46-6448

第62回国民体育大会山岳競技会 新潟県第二次予選会(縦走)実施要項

1 主催 財団法人新潟県体育協会 新潟県山岳協会

2 共催 新潟県教育委員会 上越市 上越市教育委員会

3 主管 新潟県山岳協会

4 種目 縦走競技

5 期日 平成19年5月20日(日)

6 会場 集合・開始式 須川生涯学習センター(旧須川小学校) 上越市安塚区須川 縦走競技 キュービツトバレースキー場内及び周辺道路 表彰式 須川生涯学習センター

7 参加資格・種別・年齢基準

平成19年4月1日時に

いて新潟県に現住所があり、

次の年齢基準が満たされて

いること。

【種別】 成年男子・成年女子

18歳以上であること。

【種別】 少年男子・少年女子

平成元年4月1日以前に

生まれた人

【種別】 少年男子・少年女子

平成元年4月2日以後に

生まれて18歳未満である

こと。

※新潟県に現住所のない場

合については、参加資格

の有無について主催者で

審査します。国体実施要

項総則(参加資格及び年

齢基準等)により以下に

該当する場合については

参加資格が与えられます。

詳細は申込み先まで問い

合わせてください。

成年種別:「勤務地」、

または、国民体育大会

ふるさと選手制度によ

る「ふるさと」に該当

する場合

少年種別:「学校教育法

第1条に規定する学校

の所在地」、または

「勤務地」に該当する

場合

※新潟県山岳協会に加盟登

録していない参加者は、

予備審査を行い、成績に

より一時登録を行い参加

資格を与えます。

8 参加費(選手登録料、国民

体育大会参加者傷害保険含

む)

成年男子・成年女子

3,000円

少年男子・少年女子

2,000円

9 競技日程及び場所

(1) 10:00~10:30 受付

須川生涯学習センター

(2) 12:30~12:45 開始

式 須川生涯学習センター

(3) 13:00 競技スタート

須川生涯学習センター脇

(4) 15:30 表彰式 須川

生涯学習センター

10 競技について

実施の細部は、実施要領

によって行います。

※「社団法人日本山岳協会

国民体育大会山岳競技規

則集」(平成17年5月改

訂)に基づいて実施しま

すが、同規則集でチーム

競技とあるのを個人競技

に読み替えて実施します。

11 新潟県代表選手の選出と表

彰

(1) 各種別個人1位から3

位までを表彰します。

(2) 県代表選手の選出は優

秀選手の中より新潟県山

岳協会が選考します。

(3) 成年男子の代表選手は

秋田国体に、成年女子、

少年男子、少年女子の代

表選手は北信越国体(福

井県)に出場します。

12 申込み先

〒941-0005 2

糸魚川市南押上2-3-301

水落 竜馬

TEL/FAX 025-553-1099

別紙参加申込書様式に準

じて参加申込書に必要事項

を記入し、5月14日(月)

まで郵送またはFAXして

ください。

参加費は大会当日の受付

時に納入してください。

13 競技等の問合せ先

〒940-2402

長岡市与板町与板241

森 庄一

TEL/FAX 0258-72-2710

新たに会報編集委員会へ参

加をお願い致しました。

小林 文子(南魚山岳の会)

編集こうき

▲今年は小雪で気をそがれて山スキーには乗らずじまいだった。その代りワカンでの山歩きの楽しさを再認識した。脇見運転可能でより一層、自然が堪能できる。金属製に変えた古いワカンは、亜麻仁油で磨きあげ、ウッドシャフトのシャルレの隣にかける。雑然とした私の部屋によく似合う。スノーシューと穴あきスリッパもそばに置く。両方とも「モチヅキ」製であった。

▲先日の総務委員長からの業務メールに迫伸があった。

料理のレシピで「打ち豆入りの落味噌」とある。細かいレシピは書いてないが、私は中華ナベにサラダ油とバターを半々にして、打ち豆を煎り付け、その中に湯ガイタ路をよくしほったのを程よい大きさにちぎって、辛味と酒を加えた甘味噌で再び煎り付けた。

到来物のカストリ焼酎とも合う、妙に得をした気分になる逸品であった。レシピには只、打ち豆は木槌でなく「ベンチ」で、とあった。

(会報編集 浅野)

